

**2011年3月期第2四半期
決算説明会資料**

2010年11月12日

第一実業株式会社

代表取締役社長 矢野邦宏

- I. 2011年3月期第2四半期 決算概要**
- II. 業種別概況 (単体)**
- III. 海外事業概況 (連結)**
- IV. 新たな取組み**
- V. 2011年3月期見通し**
- VI. 中期経営計画**
- VII. 配当政策**



損益実績（連結）

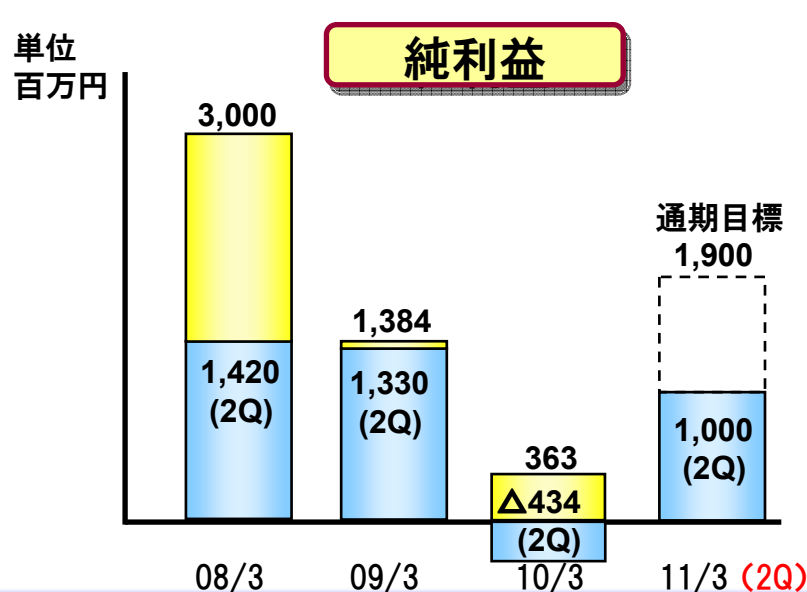
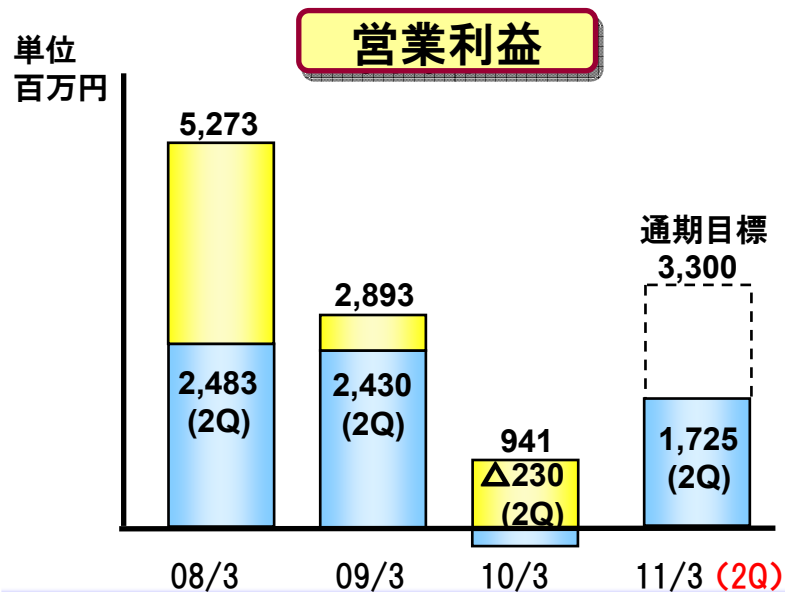
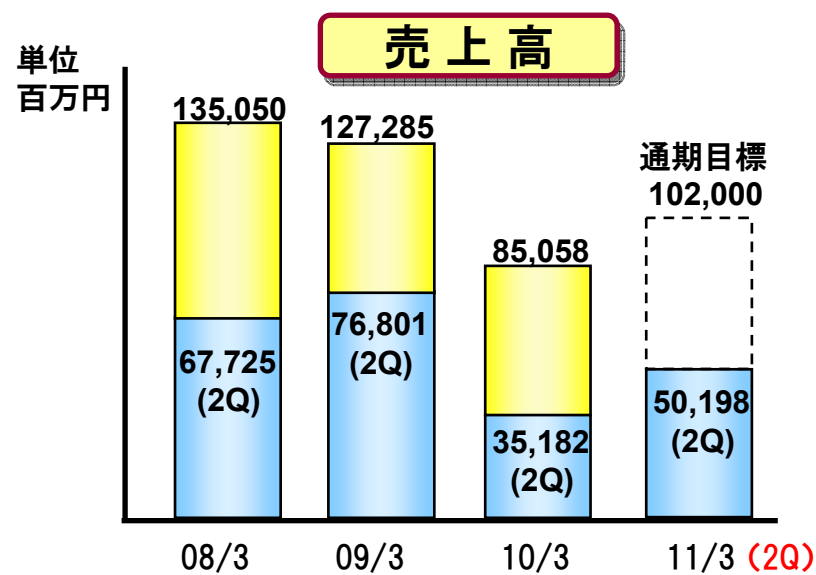
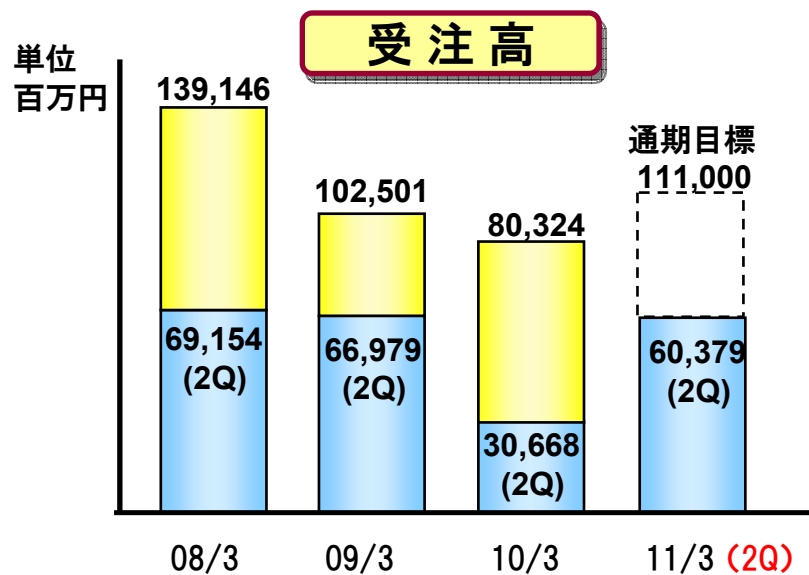


- 新興国の景気拡大や各国政府の経済対策などを背景に緩やかながら回復傾向が見られ、企業収益の改善により設備投資も緩やかな回復基調が続いたため、前年同期に比べ増収増益となった。

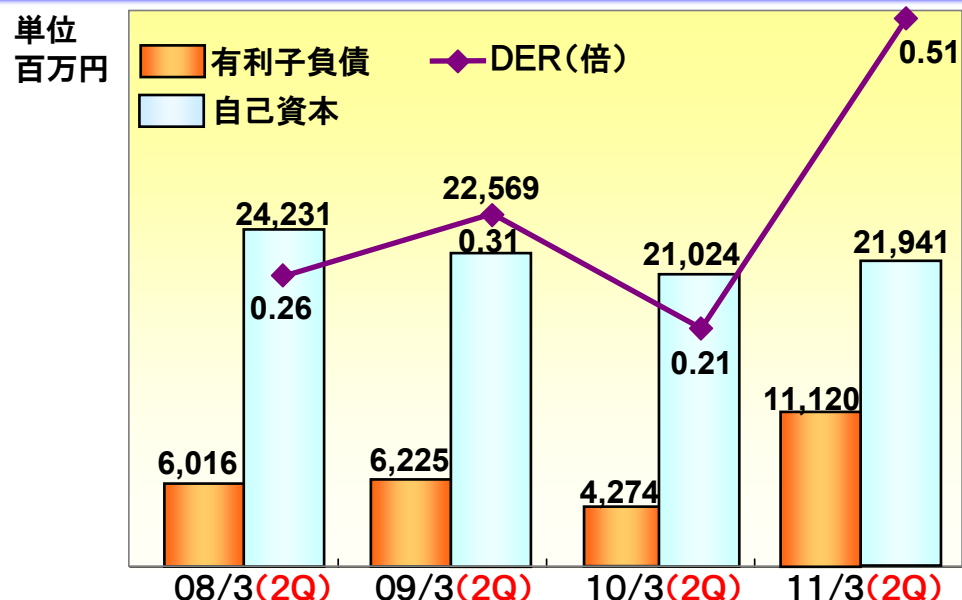
単位 百万円

	10/3 (2Q)	11/3 (2Q)	増 減
受 注 高	30,668	60,379	29,710
売 上 高	35,182	50,198	15,015
営 業 利 益	△230	1,725	1,955
経 常 利 益	△212	1,824	2,037
四 半 期 純 利 益	△434	1,000	1,434
1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益	△8.3	19.2	27.5
自己資本当期純利益率 (ROE)	△2.0%	4.6%	6.6
総資産経常利益率 (ROA)	△0.4%	3.1%	3.5

受注高・売上高・営業利益・純利益 推移 (連結)



財務の状況・キャッシュフロー（連結）



単位 倍

■ エレクトロニクス関連の売上高が大幅に増加したことに伴い、資金負担が増加したため有利子負債が増加となった。

	10/3 (2Q)	11/3 (2Q)	増減
有利子負債	4,274	11,120	5,631
自己資本	21,024	21,941	227
D E R	0.21倍	0.51倍	0.30

単位 百万円

DER = 有利子負債 ÷ 自己資本

- 営業キャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産の増加により減少。
- 投資キャッシュ・フローは、投資有価証券の取得により減少。

	10/3 (2Q)	10/3 通期	11/3 (2Q)
営業キャッシュ・フロー	△2,594	△6,848	△6,161
投資キャッシュ・フロー	2,504	1,993	△176
フリーキャッシュ・フロー	△90	△4,854	△6,337
財務キャッシュ・フロー	△1,472	△372	5,401
現金及び現金同等物の期末残高	10,833	7,118	6,103

単位 百万円

- I. 2011年3月期第2四半期 決算概要
- II. 業種別概況 (単体)
- III. 海外事業概況 (連結)
- IV. 新たな取組み
- V. 2011年3月期見通し
- VI. 中期経営計画
- VII. 配当政策



業種別受注高実績（単体）



受 注 高

単位 百万円

	10/3 (2Q)	11/3 (2Q)	増減率
エネルギー・石油化学・エンジニアリング関連	7,204	11,225	55.8%
エレクトロニクス関連	6,369	21,476	237.2%
プラスチック関連	3,433	5,801	69.0%
紙・パルプ関連	635	793	24.8%
自動車関連	3,468	5,576	60.7%
医薬品・食品関連	3,249	2,398	△26.2%
その他の	3,399	7,784	129.0%
合計	27,760	55,056	98.3%

業種別売上高実績（単体）

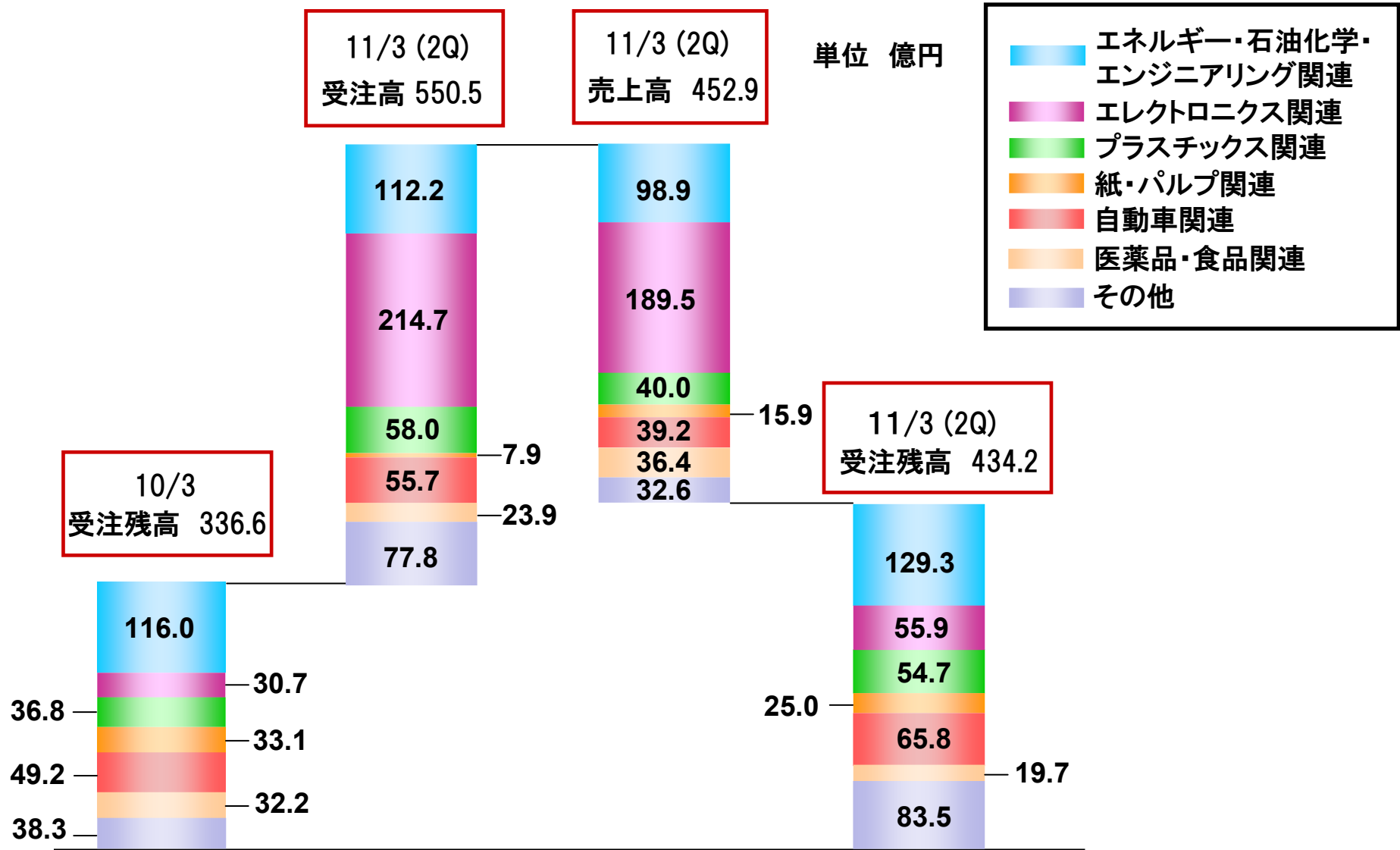


売上高

単位 百万円

	10/3 (2Q)	11/3 (2Q)	増減率
エネルギー・石油化学・エンジニアリング関連	10,422	9,897	△5.0%
エレクトロニクス関連	6,520	18,959	190.8%
プラスチック関連	5,044	4,008	△20.5%
紙・パルプ関連	1,520	1,597	5.1%
自動車関連	3,164	3,922	23.9%
医薬品・食品関連	2,266	3,645	60.8%
その他	2,960	3,260	10.2%
合計	31,899	45,291	42.0%

業種別受注高・受注残高実績（単体）

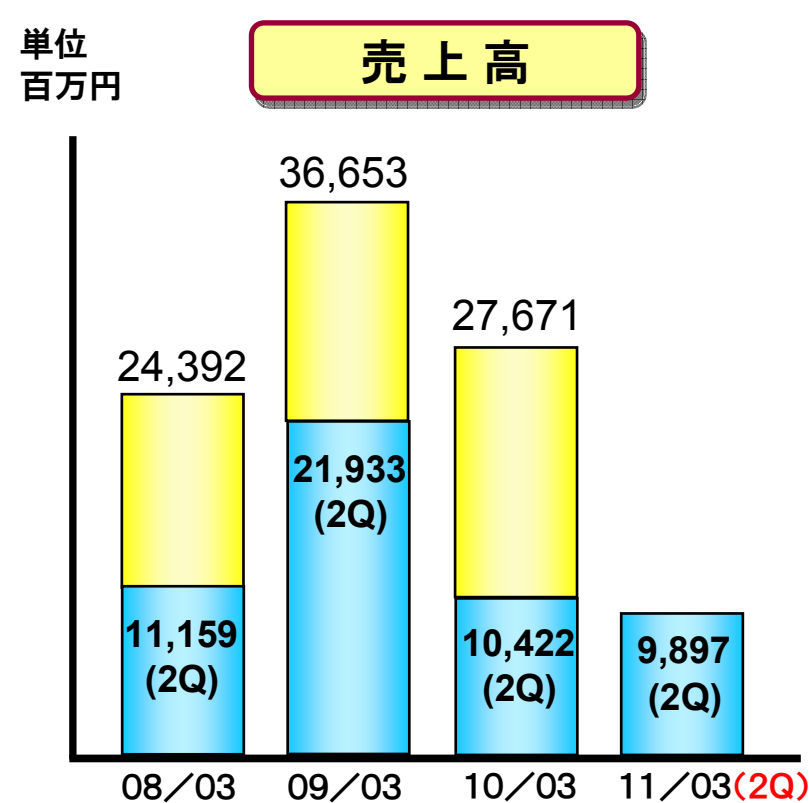
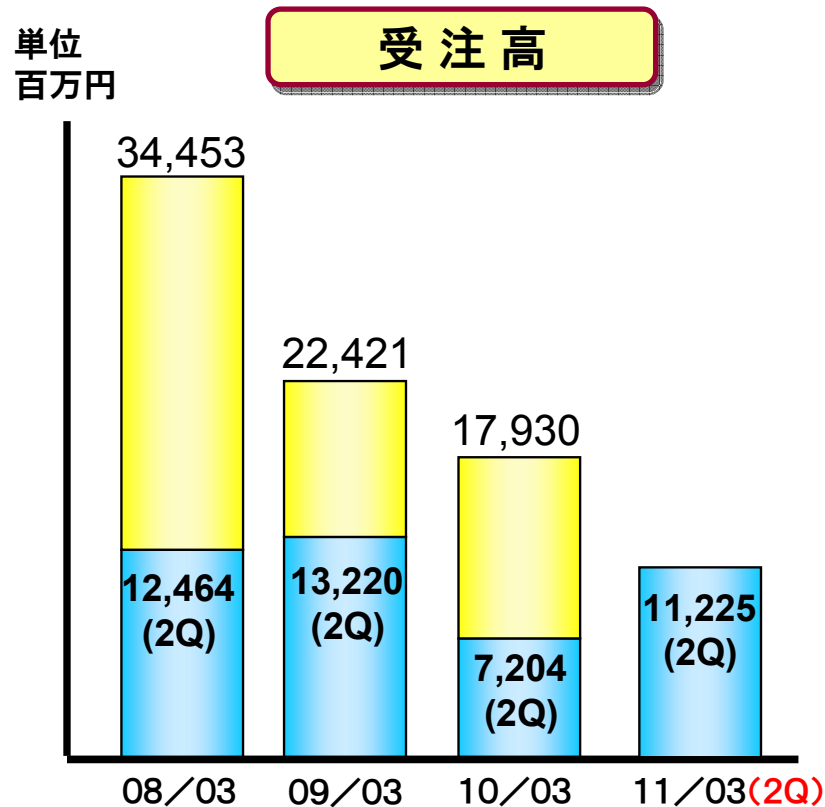


エネルギー・石油化学・エンジニアリング関連



受注高	11,225 百万円	(前年同期比 55.8% 増)
売上高	9,897 百万円	(前年同期比 5.0% 減)

対売上高比率
21.9%

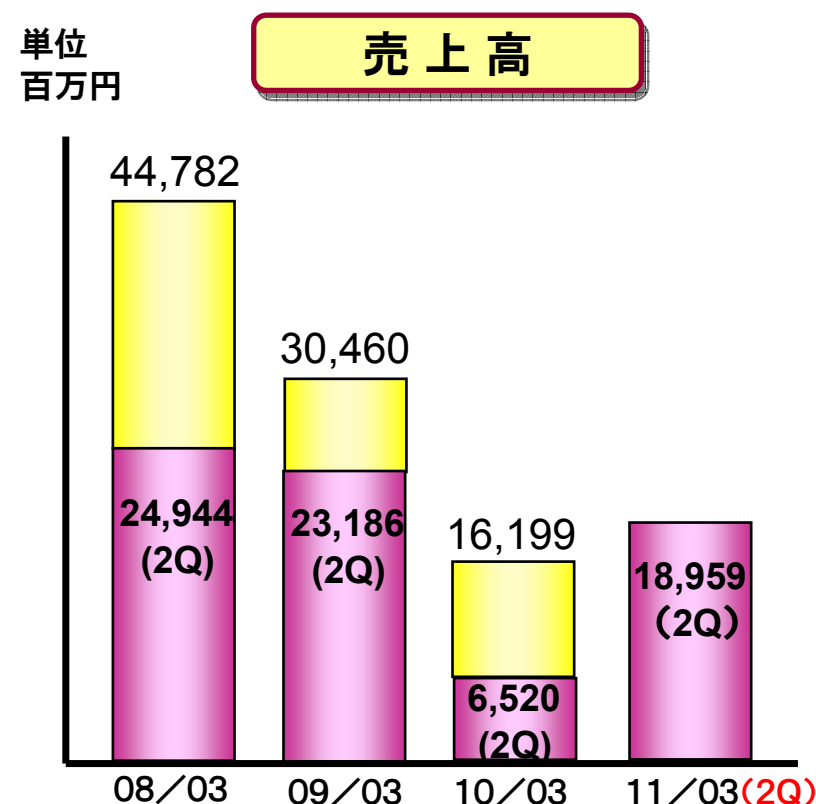
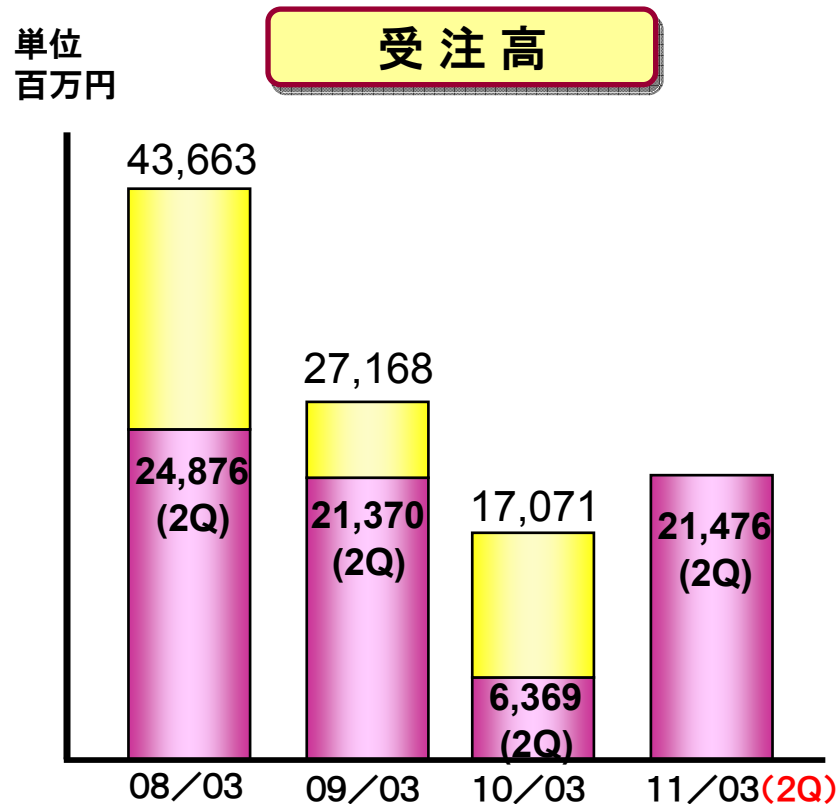


エレクトロニクス関連



受注高	21,476 百万円	(前年同期比 237.2% 増)
売上高	18,959 百万円	(前年同期比 190.8% 増)

対売上高比率
41.9%

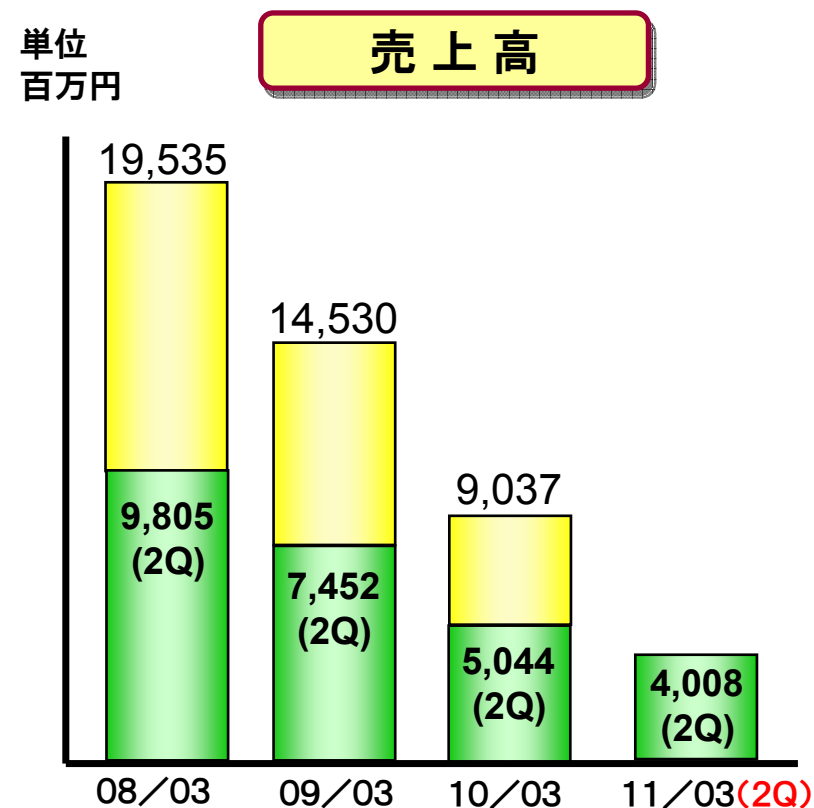
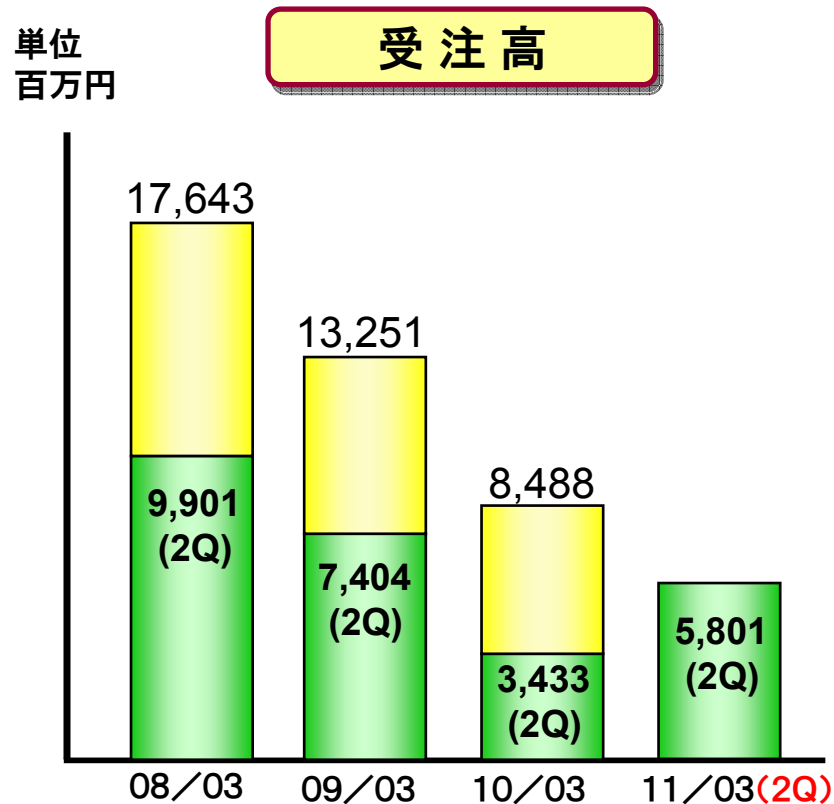


プラスチック関連



受注高	5,801 百万円	(前年同期比 69.0% 増)
売上高	4,008 百万円	(前年同期比 20.5% 減)

対売上高比率
8.9%

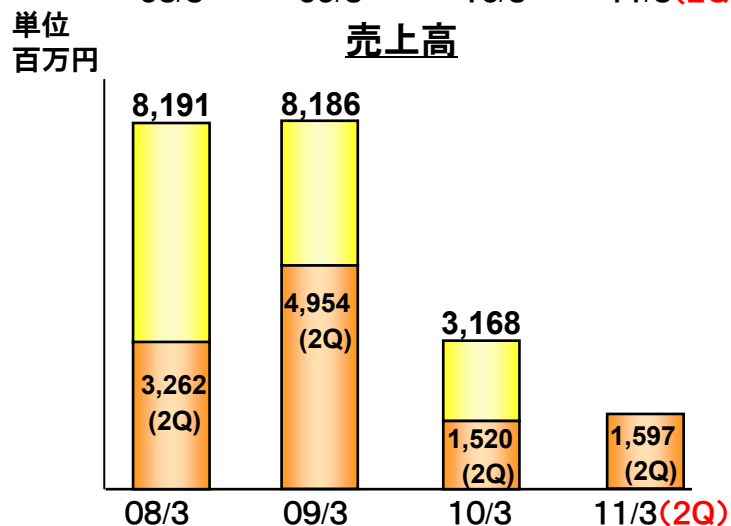
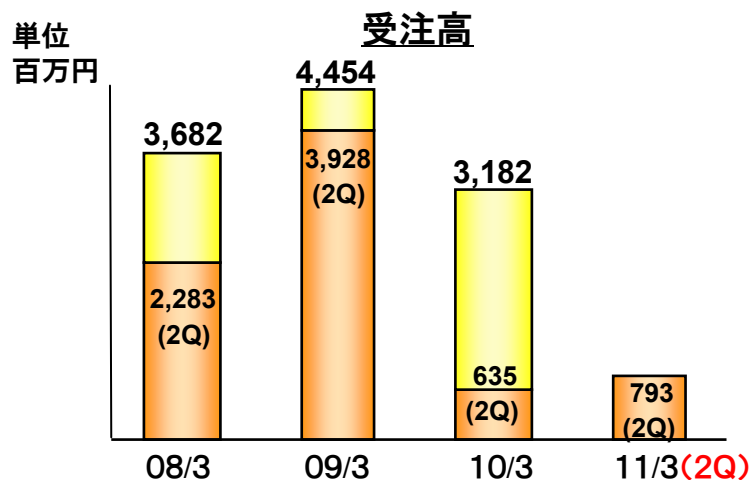


紙・パルプ関連 / 自動車関連



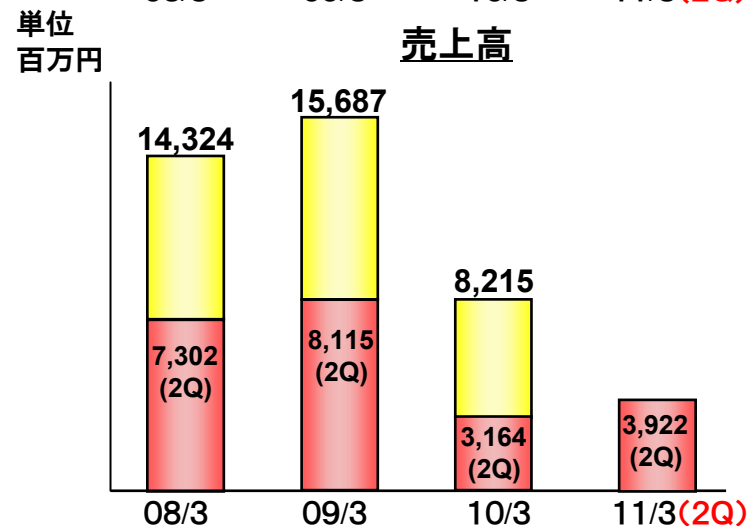
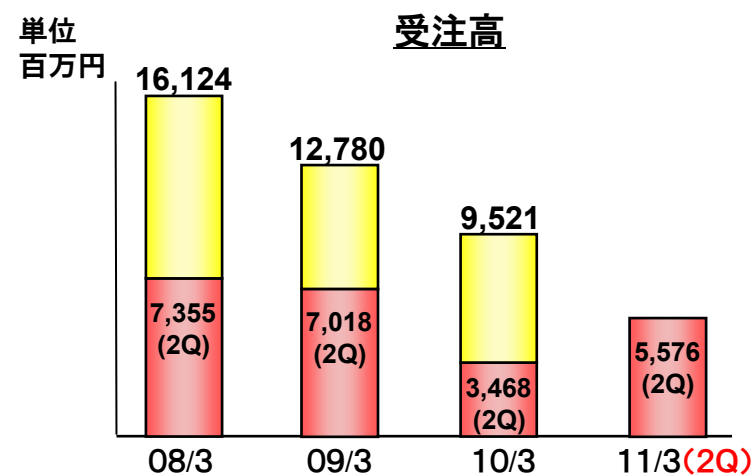
紙・パルプ関連

受注高	793 百万円	(前年同期比 24.8% 増)
売上高	1,597 百万円	(前年同期比 5.1% 増)



自動車関連

受注高	5,576 百万円	(前年同期比 60.7% 増)
売上高	3,922 百万円	(前年同期比 23.9% 増)

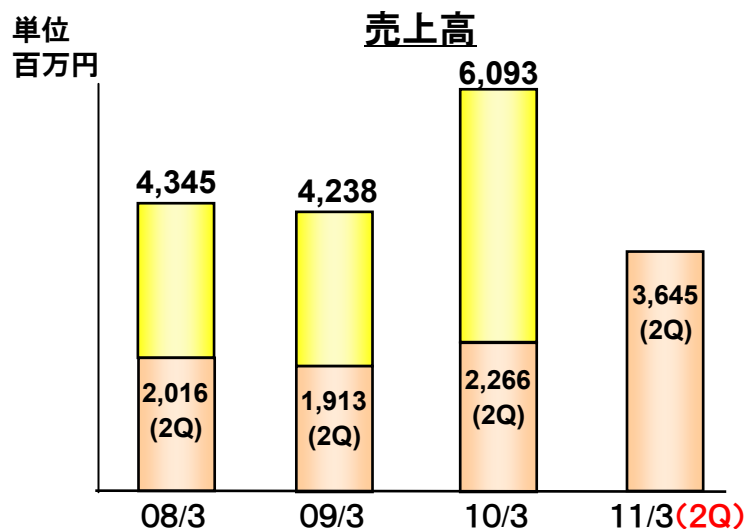
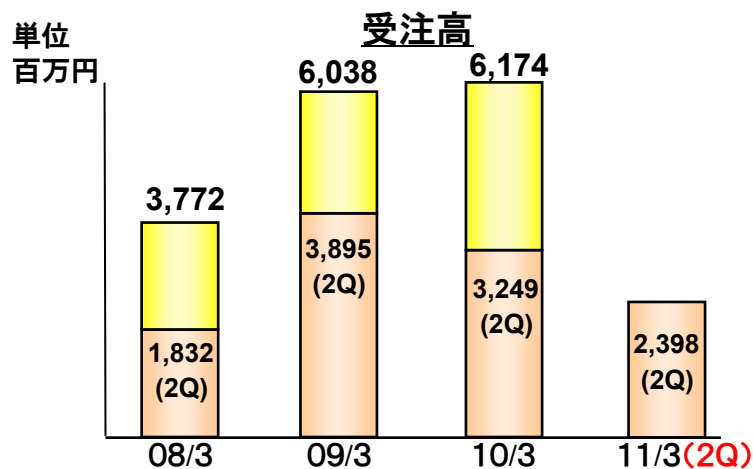


医薬品・食品関連 / その他



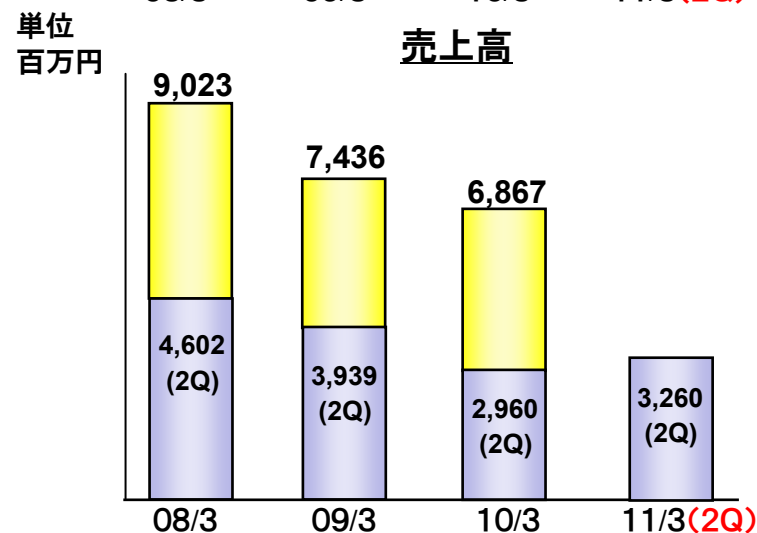
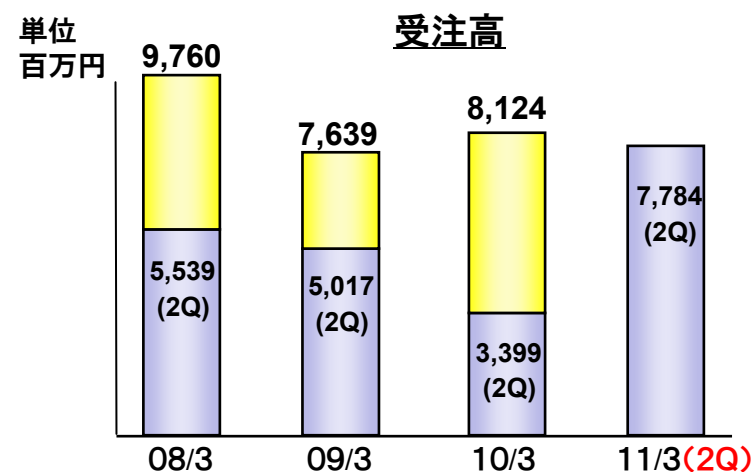
医薬品・食品関連

受注高	2,398 百万円	(前年同期比 26.2% 減)
売上高	3,645 百万円	(前年同期比 60.8% 増)



その他

受注高	7,784 百万円	(前年同期比 129.0% 増)
売上高	3,260 百万円	(前年同期比 10.2% 増)



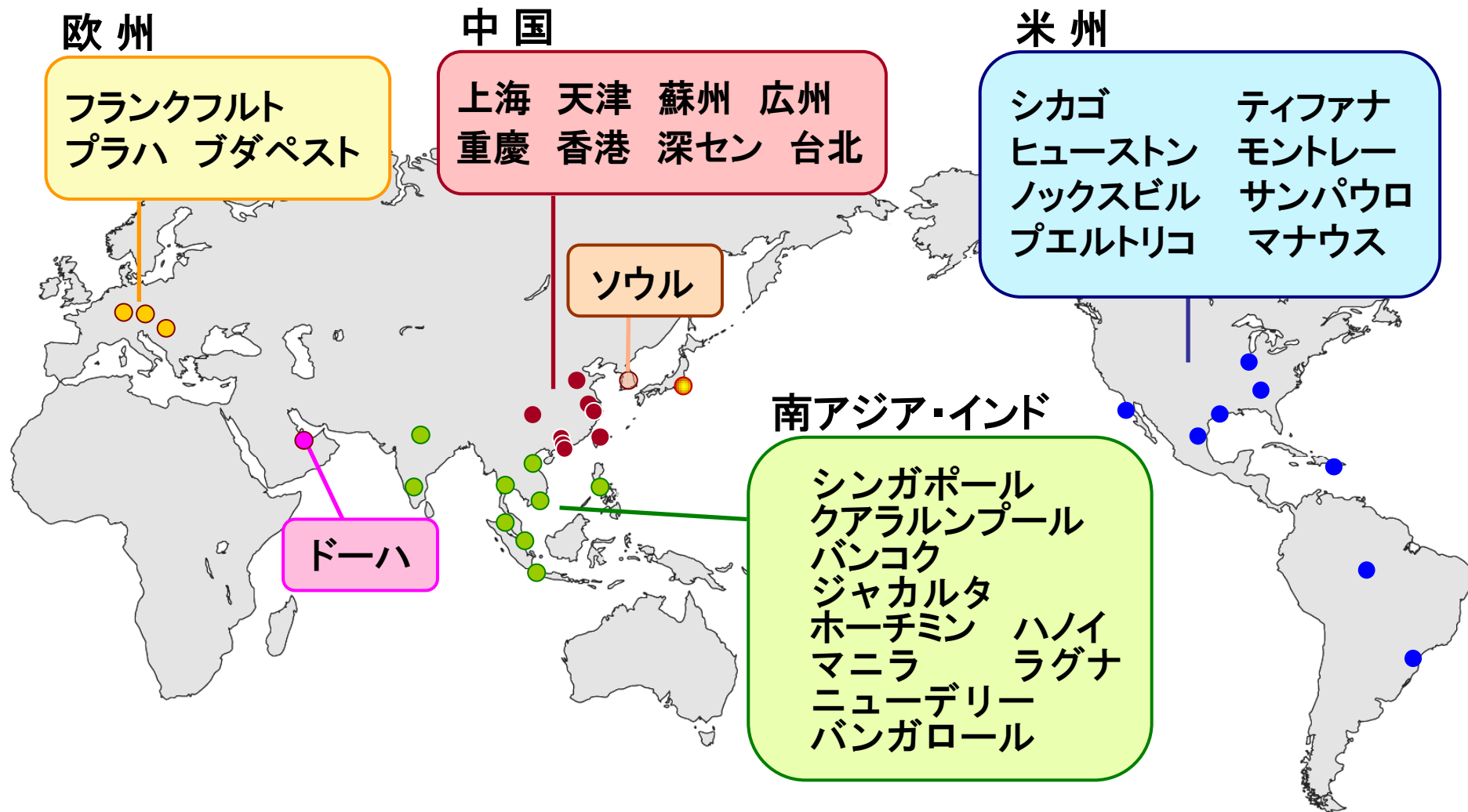
- I. 2011年3月期第2四半期 決算概要
- II. 業種別概況 (単体)
- III. 海外事業概況 (連結)
- IV. 新たな取組み
- V. 2011年3月期見通し
- VI. 中期経営計画
- VII. 配当政策



海外事業展開



■ 世界4軸体制として中国、南アジア、米州、欧州を軸に世界18カ国31都市に事業所を展開



売上高 7,200 百万円 (前年同期比 181.5% 増)

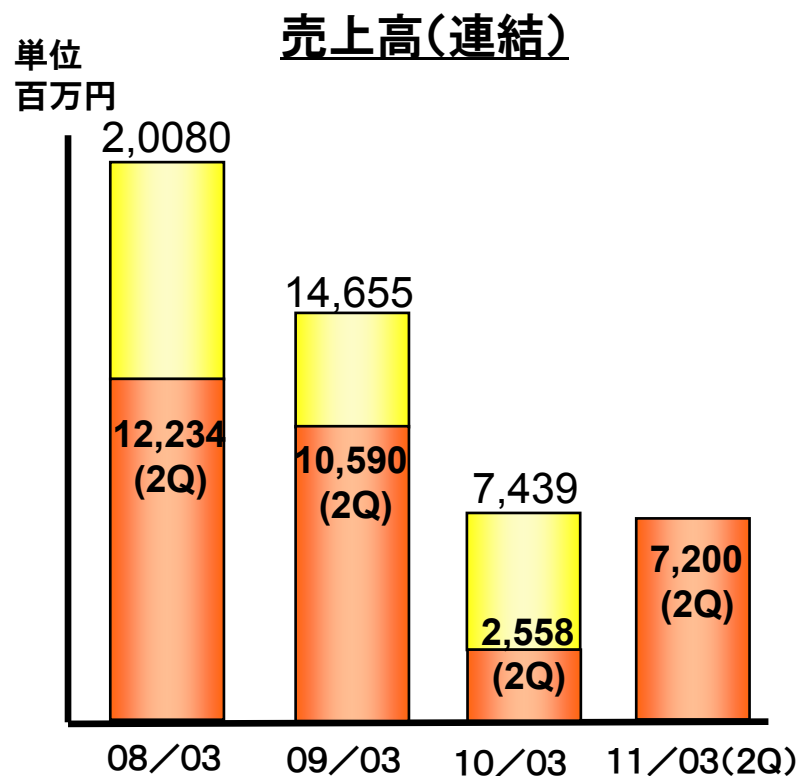
対海外売上高比率
29.2%

2011年3月期 上期の概況

ITおよびデジタル関連機器製造会社向けの電子部品実装機、基板印刷機、各種検査機等の販売が好調で売上は大幅に増加した。また自動車関連向けの販売も好調で売上高増加の要因となった。

2011年3月期 下期の展望

今後日本から中国への生産活動の移転は、現在の円高により加速し、さらに拡大していく見込みである。多様なニーズに柔軟に対応するため、品質向上が目覚ましい中国製の機械設備を含めた商品構成の強化および海外ネットワークの構築を図る。



世界4軸体制 ～南アジア・インド～



売上高 14,145 百万円 (前年同期比 195.8% 増)

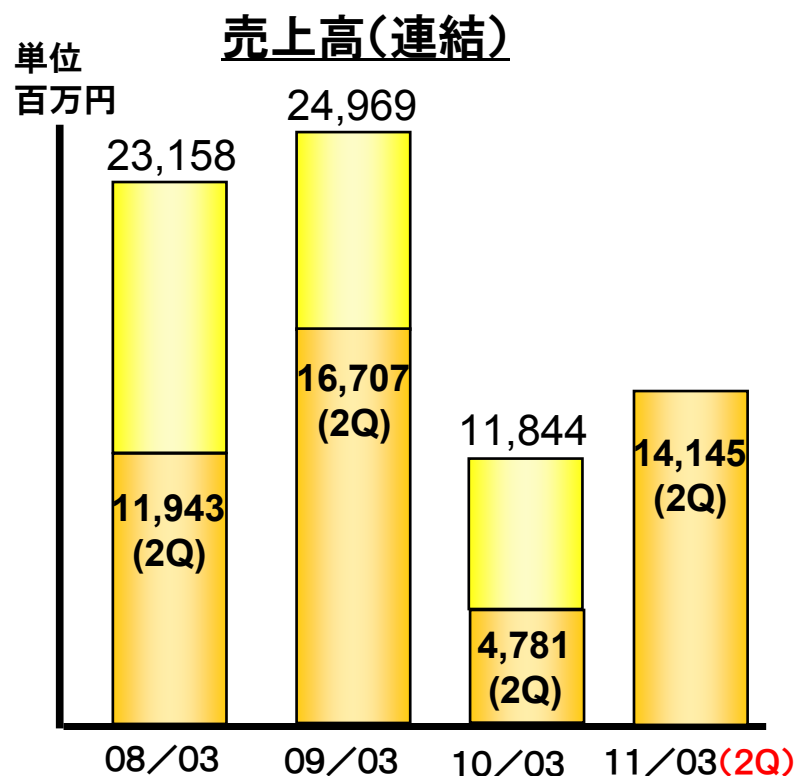
対海外売上高比率
57.3%

2011年3月期 上期の概況

南アジア全体としてはリーマンショック前の水準に戻りつつある。かねてより取組んでいる塗装関連事業が実り、インドにおいて大手2輪製造会社向け塗装設備の受注に成功。

2011年3月期 下期の展望

引続きタイ、インドネシア、インドの2輪・自動車業界の好調が見込まれる。中国と同様に日本からの生産活動の移転は、さらに拡大していく見込みである。日系企業以外の現地企業に働きかけを強め、業界別現地メーカーの見極めを早期に実施し、現地調達率の向上を図る。



売上高 1,666 百万円 (前年同期比 110.3% 増)

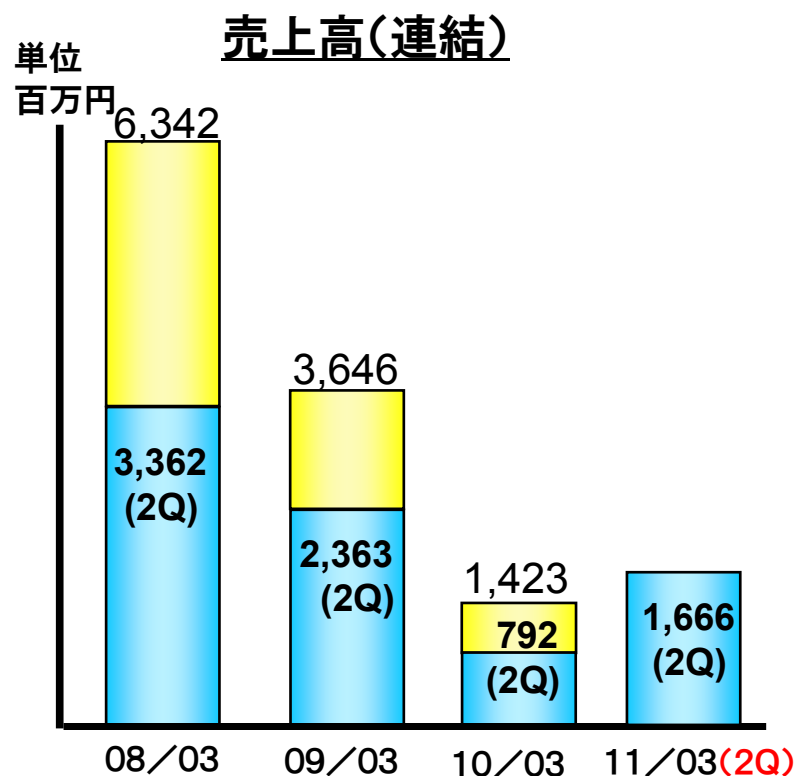
対海外売上高比率
6.8%

2011年3月期 上期の概況

製薬業界・自動車業界の投資は依然として慎重であるが、市場は順調に回復してきている。リチウムイオン電池関連においては焼成炉の大型受注に成功。プラスチック、化学分野においては凍結していた計画が復活し、下期以降の受注を目指す。

2011年3月期 下期の展望

リチウムイオン電池・創薬・化学プラントなどの市場においては、受注面で大幅な増加が予想される。特に創薬関連においては、今上期に設立した創薬支援ロボットを販売する子会社を通じて、顧客開拓の強化を図る。



世界4軸体制 ～欧州～



売上高 391 百万円 (前年同期比 66.9% 減)

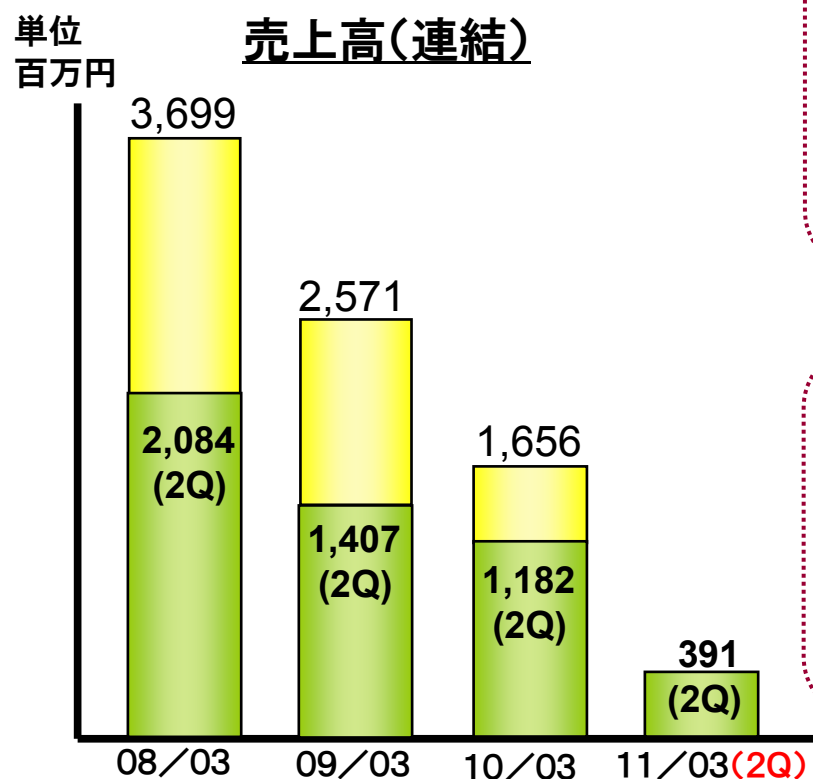
対海外売上高比率
1.6%

2011年3月期 上期の概況

欧州全体の不況により、売上高は大幅に下落。受注面では、大手自動車部品メーカーおよび大手家電メーカー向けの機械設備受注に成功。

2011年3月期 下期の展望

上期に引続き極端な円高傾向にあり、状況は依然として厳しいことが予想される。ルーマニア、ブルガリアなどのEU新加盟国市場およびロシア市場の開拓を図る。



- I. 2011年3月期第2四半期 決算概要
- II. 業種別概況 (単体)
- III. 海外事業概況 (連結)
- IV. 新たな取組み**
- V. 2011年3月期見通し
- VI. 中期経営計画
- VII. 配当政策

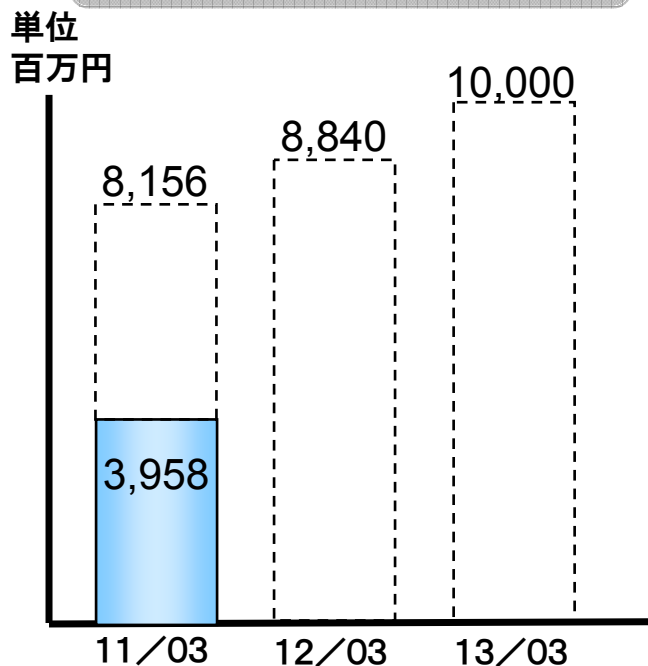


LIB (Lithium-Ion-Battery) プロジェクト室 発足



近年、ハイブリッド電気自動車(HEV)などの動力機器、携帯電話やノートパソコンの電源として、使用が拡大しているのがリチウムイオン電池である。リチウムイオン電池は、鉛や水銀などを使用していないため、環境にやさしい商品であることから有力な市場となっている。当社は、かねてからの強みの一つである極板工程・セル組立工程に必要な焼成炉やミキサーのノウハウを活かし、国内外問わず部門・本部を越えた協力体制として新たにLIBプロジェクト室を発足し、客先へのアプローチをさらに強化した。

受注目標



ターゲット業界

- 電池業界
- 化学業界
- 自動車業界 など

今後の課題・取組み

- 特長のある、競争力が強い商品の開発
- 現地サポート体制の充実
- 人材の補強、育成

- I. 2011年3月期第2四半期 決算概要
- II. 業種別概況 (単体)
- III. 海外事業概況 (連結)
- IV. 新たな取組み
- V. 2011年3月期見通し**
- VI. 中期経営計画
- VII. 配当政策

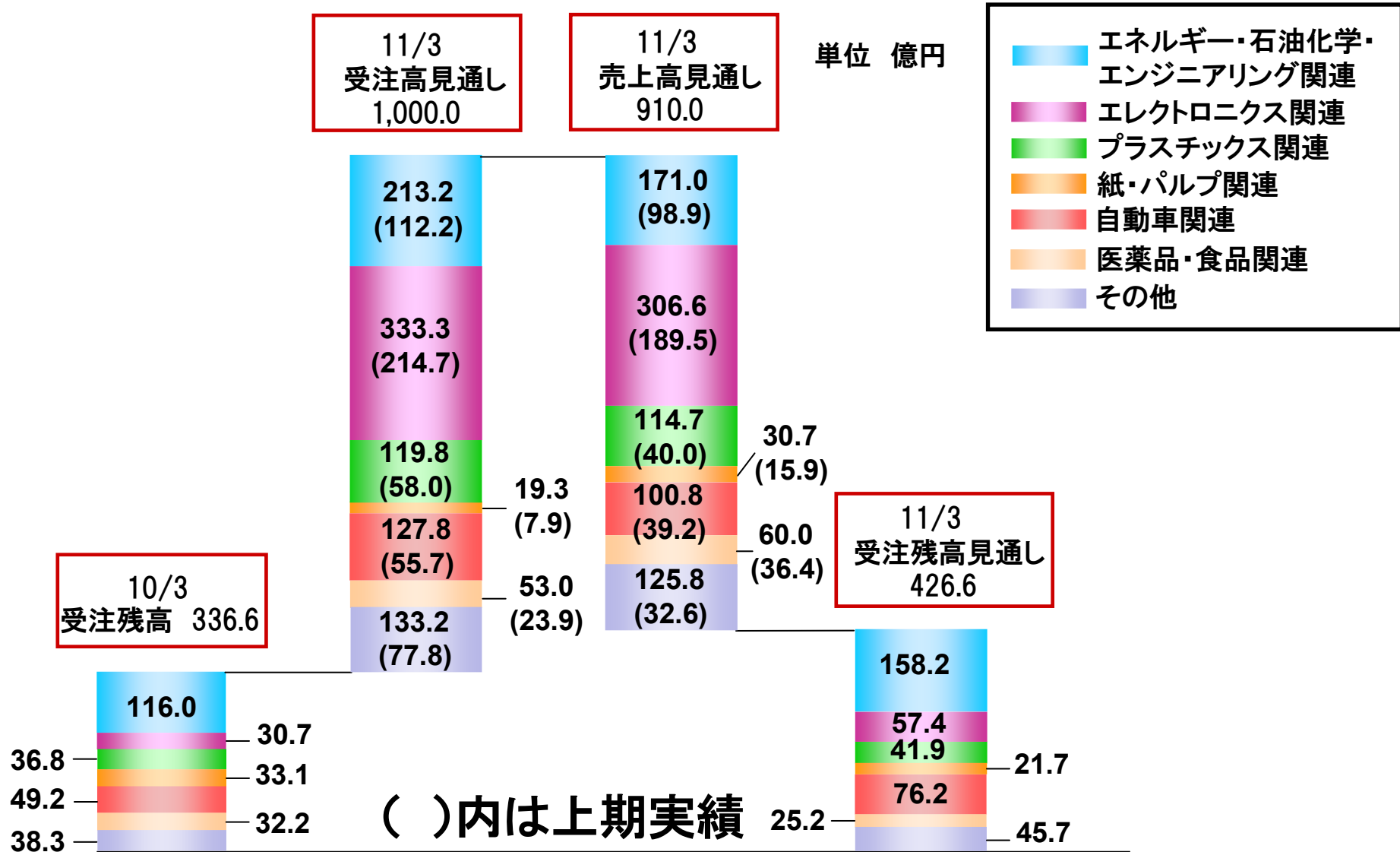


2011年3月期 決算見通し

単位 百万円

	10/3 通期 実績	11/3 通期 見通し	増減率
受 注 高	80,324	111,000	38.2%
売 上 高	85,058	102,000	19.9%
営 業 利 益	941	3,300	250.3%
経 常 利 益	1,241	3,300	165.7%
当 期 純 利 益	363	1,900	423.0%
1株当たり当期純利益	6.97	36.40	422.2%

2011年3月期 受注高および受注残高見通し（単体）



- I. 2011年3月期第2四半期 決算概要
- II. 業種別概況 (単体)
- III. 海外事業概況 (連結)
- IV. 新たな取組み
- V. 2011年3月期見通し
- VI. 中期経営計画**
- VII. 配当政策



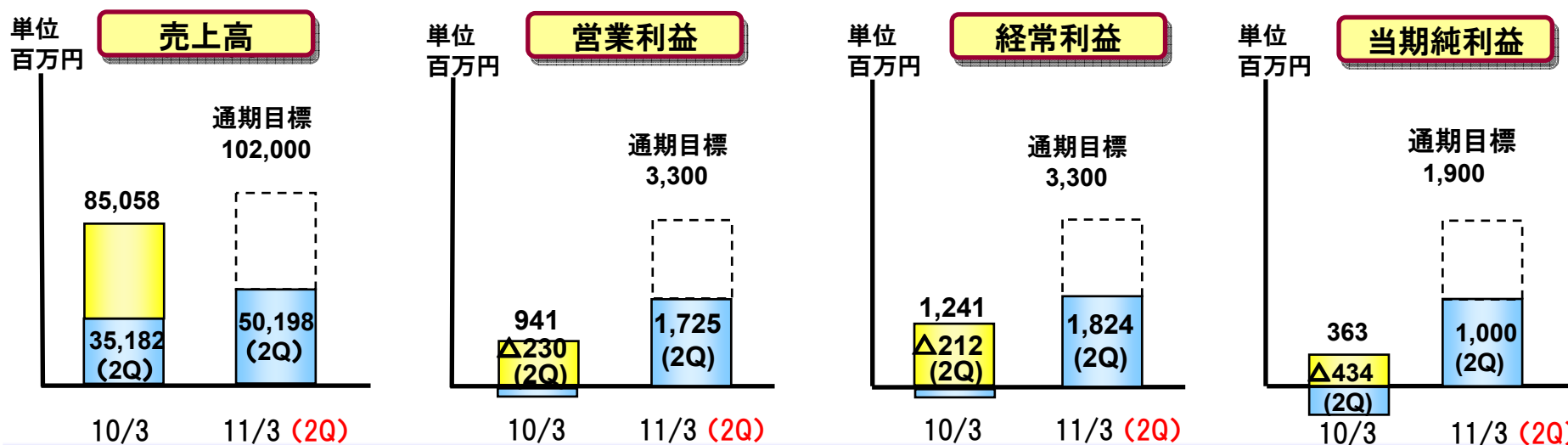


中期経営計画「ACT2012」 定量目標（連結）



売上高1,270億円、営業利益51億円を目標

単位 百万円	2011年3月期	2013年3月期
売上高	102,000	127,000
営業利益	3,300	5,100
経常利益	3,300	5,100
当期純利益	1,900	2,900



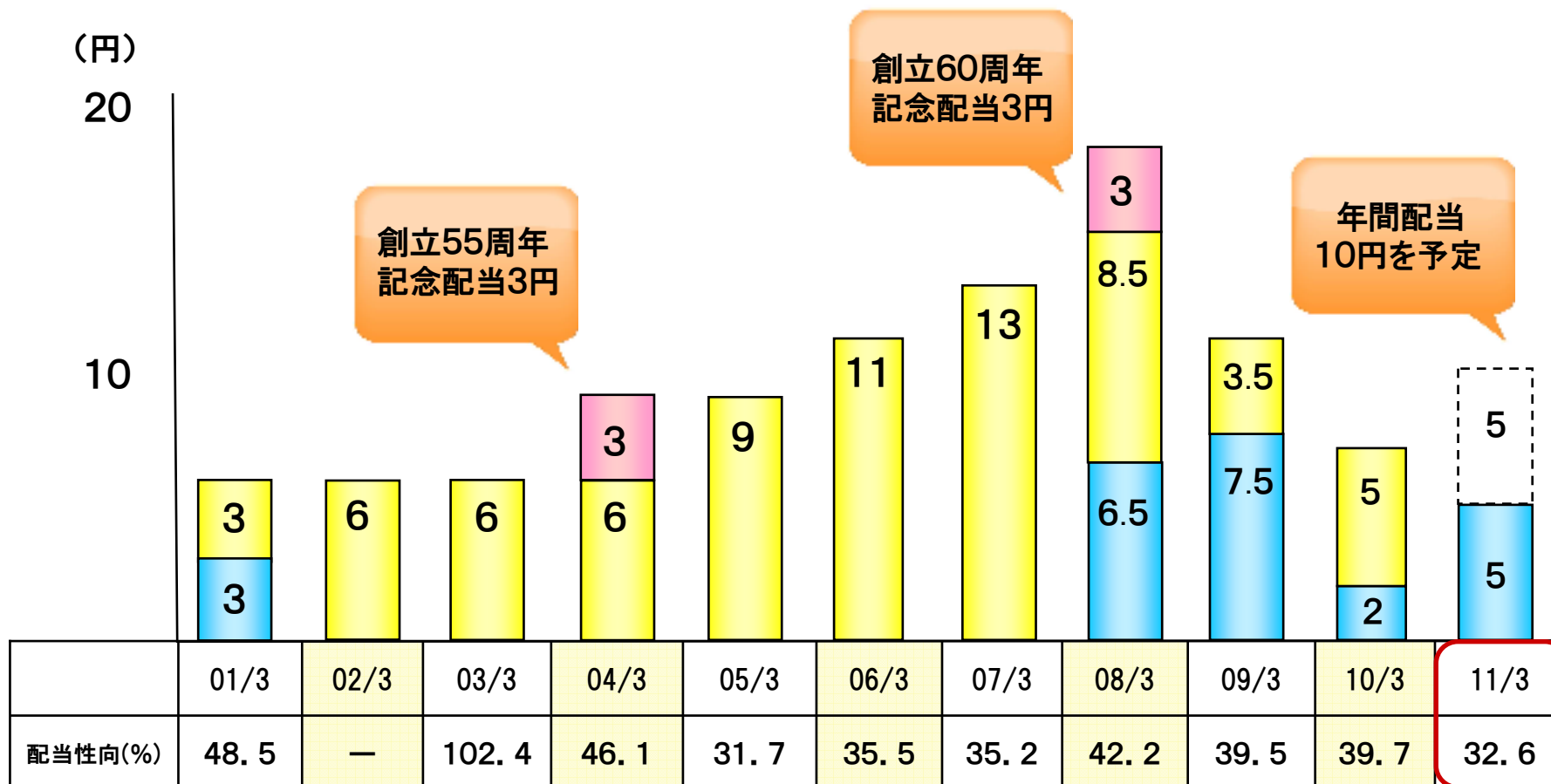
- I. 2011年3月期第2四半期 決算概要
- II. 業種別概況 (単体)
- III. 海外事業概況 (連結)
- IV. 新たな取組み
- V. 2011年3月期見通し
- VI. 中期経営計画
- VII. 配当政策**



配当金の推移・配当性向

- ・ 2011年3月期年間配当は、業績および配当性向等を考慮し10円を予定
- ・ 配当性向は単体利益に対して30%~50%を目処

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 記念配当



ご清聴ありがとうございました

お問合せ先 IR・広報室

TEL:03-5214-8611 Fax:03-5214-8503

E-MAIL:djk_ir@djk.co.jp

HOME PAGE:http://www.djk.co.jp/

東京都千代田区二番町11番19号



第一実業株式会社

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標、その他歴史的事実でないものは、現時点での入手可能な情報に基づき、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

